



志布志市立潤ヶ野小学校

6月21日

南日本新聞 黒ヂョカ



メダカの稚魚

○…志布志市の潤ヶ野小学校に今年転入してきた5年生、西鍋匠惺さん。本が大好きな物知り博士で、あつという間に学校に慣れ、明るく元気に過ごしている。

○…理科の授業でメダカ観察が

行われることになり、西鍋さんたちは大張り切り。教頭と担任は早速、校区に住むメダカ飼育の達人、荒平安次さん(65)に連絡をとり、20匹ほどおなかの大きなメダカを分けてもらった。毎日わくわくしながら観察した数日後、水槽に小さな稚魚が現れてみんな大喜び。荒平さんにも早速報告した。

○…さらに念入りに世話を続けるが、何かがおかしい。稚魚がシヤクトリムシのように泳いでいることに気付いた西鍋さん、「先生、これメダカじゃない。動きが変。ボウフラだよ!」。「刺す蚊の幼虫に気付くなんて、さすが潤ヶ野小の物知り博士」と感心しつつ、先生たちは水槽の水をそっと捨てたのだった。

(志布志支局)



5年生の理科で起きた出来事が南日本新聞の黒ヂョカに載りました。現在、本当の稚魚も無事に生まれ、元気に泳いでいます。